



学校教育目標

【志を持って学ぶ たくましい 心と体の東中生】

東中だより 第10号  
令和7年1月31日  
上尾市立東中学校  
校長 石田 賢一  
上尾市大字上尾村479  
TEL 048-775-6566  
FAX 048-775-1165

## 努力することの大切さ

校長 石田 賢一

早いもので、令和7年が始まって1ヶ月が経ちました。よく「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるとおり、3学期は一年で一番短い学期ですが、受験をはじめ多くのイベントがあったり、一年のまとめの時期ということで様々な取り組みがあったりで、あっという間に過ぎていきます。

東中学校の生徒たちには、3学期の重要性を意識し、4月から始まる新年度に向けてしっかりと準備ができるように頑張ってもらっています。教職員一同も「チーム東中」で生徒一人ひとりに向き合いながら、教育活動を進めてまいります。

さて、1月は新1万円札の肖像画の渋沢栄一について述べましたが、今月は新5千円札の肖像画の津田梅子について述べたいと思います。

みなさんは、津田梅子が何をした人物か知っていますか。津田梅子は、明治の教育家で、女子専門教育の先駆者として知られています。1864年に佐倉藩（現在の千葉県佐倉市）出身の農学者津田仙の二女として江戸で生まれ、6歳（1871年12月）で日本初の女子留学生として渡米しています。11年後に帰国し、華族女学校で英語を教えました。再度渡米した後、1900年に現在の津田塾大学の前身、女子英学塾を開きました。

津田梅子は、努力を継続することの大切さを説き、女性の地位向上に尽力しました。津田梅子が残した言葉として「何かを始めることはやさしいが、それを継続することは難しい。成功させることはなお難しい。」があります。

津田梅子は、女性の地位向上が日本の発展につながると信じ、様々な努力を行いました。津田梅子が生きた時代は、現代と違い女性に対する差別や偏見が強く残っていた時代で、女性が高等教育を受けることなどなかなか理解される時代ではありませんでした。そのような中で、高等教育を受けたい女性ならば出身や身分に関わらず学ぶことができる津田塾大学を設立しました。また、学生の学びを支援するために講演や募金活動を行って、奨学金制度も構築しました。

津田梅子は、様々なことにチャレンジし、困難にぶつかっても諦めることなく、自身が目指す目標のために最後まで努力し続けた人生でした。

津田梅子の言葉「何かを始めることはやさしいが、それを継続することは難しい。成功させることはなお難しい。」は、努力し続ける大切さを伝えるとともに、努力の仕方の大切さも伝えていて私は思います。

成功するための努力をするには、「目標を明確にする」「モチベーションを維持する」「努力を継続する」「失敗や挫折に柔軟に対応する」ことが重要となります。また、「周囲の理解と協力」が必要不可欠です。

現在、4月から始まる新年度に向けて、理想を叶えるために東中学校の生徒が努力しています。その努力が成功に結びつくよう、教職員、保護者、地域の皆様が丸となりしっかりと支えていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りします。



## 2月の行事予定

【完全下校17:30】

日	曜	行事	日	曜	行事
1	土		16	日	
2	日		17	月	
3	月	教育相談期間 (~2/12) 3年二・三者面談4 1・2年二者面談3	18	火	志願先変更期間 専門委員会
4	火	5時間授業 1・2年二者面談4 電子出願期間 (~4日)	19	水	志願先変更期間 不審者対応訓練 テスト前部活動 休止
5	水	5時間授業 1・2年二者面談5	20	木	中央委員会 テスト前部活動 休止
6	木	5時間授業 小学生見学会	21	金	テスト前部活動 休止
7	金	1・2年二者面談6	22	土	テスト前部活動 休止
8	土		23	日	天皇誕生日 テスト前部活動 休止
9	日		24	月	振替休業日 テスト前部活動 休止
10	月		25	火	⑤県公立入試事前 指導 テスト前部活動 休止
11	火	建国記念の日	26	水	県公立高等学校 学力検査 1・2年学年末 試験1日目 テスト前部活動 休止
12	水		27	木	県公立高等学校 実技検査・面接 1・2年学年末 試験2日目 テスト前部活動 休止
13	木	3年学年末試験 1日目 入学願書、調査 書、学習の記録 等一覧表等の提出日	28	金	
14	金	3年学年末試験 2日目 中央委員会			
15	土				

※1月27日現在の予定です。やむを得ず変更になる場合もあります。ご了承ください。

## 3月の行事予定

【完全下校17:30】



日	曜	行事	日	曜	行事
1	土		16	日	
2	日		17	月	⑤1・2年授業 参観 学級懇談 会
3	月	県公立高等学校 校追検査 薬物乱用防止 教室(1~3 年)	18	火	生活アンケート 第5回学校運営 協議会
4	火	三送会リハ 中央委員会 ななくみ校外 学習	19	水	第2回民生委員 上尾市立東中学 校区生徒指導連 絡協議会 給食終了日
5	水	3年球技大会	20	木	春分の日
6	木	入学許可候補 者発表 三送会準備	21	金	給食なし 主任児童員連絡 会議
7	金	⑤⑥三送会	22	土	
8	土		23	日	
9	日		24	月	
10	月	⑤3年生に学ぶ 会	25	火	2学年集会 1学年集会 大掃除
11	火	⑤卒業証書授与 式予行 ⑥集会	26	水	修了式
12	水	専門委員会	27	木	学年末休業日
13	木	⑤卒業証書授与 式準備 部活動休止	28	金	
14	金	第49回卒業証 書授与式 門出の式 部活動休止	29	土	
15	土		30	日	
			31	月	

令和6年度 上尾市立東中学校 学校評価

1 実施時期

- (1) 自己評価 第1回 令和6年 7月 5日  
 第2回 令和6年 12月 2日  
 (2) 学校関係者評価 令和7年 1月28日

2 実施内容

(1) 自己評価の内容及び結果(段階評定法で4・3・2・1から選択)

			第1回 平均値	第2回 平均値
カリキュラム ・マネジメント の確立	1-1	問題発見・課題解決能力を育成する授業を行っている	3.10	2.94
	1-2	物事を多面的・多角的に見て、判断する能力を育成する授業を行っている	3.10	3.09
	1-3	言語能力(リーディングスキル含)を育成する授業を行っている	3.00	2.97
	1-4	ICT機器を使いこなせる能力を育成する授業を行っている	3.00	2.69
	1-5	多様な他者と協働しながら、目標に向かって努力・挑戦する力を育成している	3.19	3.14
	1-6	新たな価値を生み出す、豊かな創造性を高めようとしている	2.93	2.91
コミュニティ ・スクールの推 進	2-1	地域の学校として、地域とともに育ち、生徒に地域の担い手としての自覚を持たせている	2.73	2.60
	2-2	地域の人々との学びや体験活動を通して、自己肯定感や他人を思いやる心を育てている	2.78	2.66
自立する力の 育成	3-1	学習と部活動を両立できおるような指導を行っている	3.23	3.24
	3-2	大きな声で「あいさつ」と「返事」ができるように指導している	3.21	2.97
	3-3	時間を守り、清掃活動やボランティア活動に積極的に取り組む態度を育成している	2.85	2.97
	3-4	生徒の主体的な活動を促す、意図的・計画的な生徒指導を行っている	3.11	3.06
チーム東とし て	4-1	自ら自己研鑽に励み、研究と修養を重ね、指導力の向上に努めている	3.21	3.23
	4-2	組織の一員として、認め合い・課題解決に向けて結集できるように努めている	3.17	3.19
安心・安全でき れいな学習環 境	5-1	施設設備の点検の徹底を図っている	3.23	3.19
	5-2	校内の整理整頓・環境保全に努めている	3.13	3.19
	5-3	ICT教育環境整備を進めている	2.97	2.77
シティズンシ ップ教育の推 進	6-1	社会参画意識の向上する指導を行っている	3.00	3.09
	6-2	持続可能な社会づくりの担い手の育成を行っている	3.07	2.94
	6-3	多様な他者と協働できる力を習得させている	3.21	3.18
生徒指導・教育 相談	7-1	いじめを許さない気運を醸成している	3.36	3.41
	7-2	共通理解、報告・相談・連絡・確認の徹底をしている	3.31	3.44
	7-3	「自己肯定感を育てる」教育の推進をしている	3.14	3.32
	7-4	養護教諭、さわやか相談員、SC、アップスマイルサポーターと連携している	3.28	3.23
	7-5	不登校生徒、不登校生徒を持つ保護者を支援している	3.04	3.03
進路指導	8-1	3年間を見通した計画的な進路指導・キャリア教育を推進している	2.96	2.73

健全な職場環 境	9-1	事務負担を分かち合い、負担を軽減している	2.97	2.69
	9-2	見通しを持って職務遂行を行っている	3.03	2.97
	9-3	計画的な特別休暇等の取得を行っている	3.00	2.89
	9-4	一人ひとりが自らワークライフバランスを考える	2.97	2.89

(2) 参考として生徒アンケート、保護者アンケートも実施

(3) 学校関係者評価委員会の開催(構成委員:学校運営協議委員のメンバー)

自己評価結果(生徒アンケート、保護者アンケートを参考)を学校関係者評価委員会で説明し、課題や成果について様々な角度からご意見やご感想をいただく。

3 公表方法 学校だより及び学校ホームページにて公表

4 成果

「自己評価」の結果から、本校の教職員は、自校の教育をおおむね肯定的に捉え、特に平均値が高かった項目は、「学習と部活動を両立できおるような指導を行っている」「自ら自己研鑽に励み、研究と修養を重ね、指導力の向上に努めている」「いじめを許さない気運を醸成している」「共通理解、報告・相談・連絡・確認の徹底をしている」「養護教諭、さわやか相談員、SC、アップスマイルサポーターと連携している」である。

5 今後の課題と改善策

(1) コミュニティ・スクールの推進

コロナ禍の影響から、生徒が地域の方と触れ合う機会が大幅に減少したことが大きく影響していると考えられる。学校運営協議会において、東中学校区においての学校と地域の連携をどのように図るのか議論し、情報発信していく必要がある。また、学校教育に無理のない範囲で地域の力を活用していく必要もある。

(2) 進路指導

進路指導の時間をしっかり確保していけるように進路指導・キャリア教育の指導・計画を見直していく必要があると考える。「特別活動」や「総合的な学習の時間」の活動を整理し、3年間を見通した計画を見直していきたい。

(3) 健全な職場環境

本校は教職員の働き方改革に向け、昨年度「19時半退勤」を実施し、今年度は「生徒の完全下校時刻から、1時間半後退勤」を実施した。実施にともない見通しをたて、計画的に業務に取り組めるようにし、一人に業務が偏らないようにしていく必要がある。

6 学校関係者評価委員の意見・感想等

(1) 意見・感想

- ・プリント配布が大変そうである。メール配信を上手く活用できると良いと思う。
- ・あいさつが学校・家庭・地域でどこまでできているか気になる。また、大人の方からもあいさつをしていくことが大事。
- ・高水準を維持するのは大変だと思う。先生たちの頑張りもあると思う。
- ・地域で連携していけることは連携していけたら良いと思う。

(2) 評価

本校の学校評価は妥当である。